

# 「平成28年度提案募集に向けて」

「持続可能な多世代共創社会のデザイン」  
研究開発領域公開シンポジウム

「多世代共創による持続可能な地域社会の実現に向けて」

領域総括 大守 隆

2016年3月1日(火)、 東京都コクヨホール



# 募集・選考を振り返って

- ▶ 平成26年度:「多世代共創」や「研究開発と社会実装」との関係が必ずしも明確でないものが少なくなかった。
- ▶ 平成27年度:
  - 募集に向けての取り組み:
    - ・ 領域コンセプトのブラッシュアップ
    - ・ 領域としてのリサーチ・クエスチョンの設定
    - ・ 参加者公募型のワークショップを石巻と東京で開催
    - ・ 二段階選考方式、企画調査としての提案枠を導入 など
  - 結果:
    - ・ 第1回目に比べ、領域のコンセプトに沿った提案が多かった。
    - ・ 領域の目指す方向で各所で様々な試みがなされていると感じた。
  - 課題:
    - ・ 研究を通じて何を明らかにしようとしているかが明確でない。  
→ 各提案のリサーチ・クエスチョンは何か？



# 28年度募集に向けてのメッセージ

- ▶ 前述のように、従来型の一般枠に加えて俯瞰・横断枠の設定を検討中
- ▶ 一般枠、俯瞰・横断枠ともに、「求めたい研究開発テーマ」は、

あくまで例示であって

他の提案も大いに歓迎しますし

これらに即した提案の優先度が高いわけでもない。

ただし、既採択の8PJとの類似性が高いかどうかは  
審査の一つのポイント。

今日議論の参考として供したものは

あくまで現段階のイメージであって、

最終的には、募集要項で確認してください。



# 28年度募集に向けてのメッセージ

- ▶ 従来型(仮称一般枠)では**審査でも採択後も**以下の5点にこだわります
  - 多世代共創
  - 持続可能な都市・地域
  - 研究開発の要素
  - 社会実装の可能性
  - 育む価値・可能性